

**令和7年度
「教育委員会の点検・評価」報告書
(令和6年度事務事業対象)**

**令和7年 9 月
那須町教育委員会**

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下「地教行法」という。)第 26 条により、教育委員会は、毎年、教育委員会の事務の管理・執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとされています。同時に、点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、「那須町教育振興基本計画(総合教育ビジョン)～夢・感動あふれる人づくりを目指して～」に基づき、令和6年度の教育委員会の主要事業、教育委員会の開催状況等について、点検評価委員から点検・評価をいただいた結果を総括的にまとめたものです。

教育委員会では、この点検・評価を次年度への計画等に活かし、夢・感動あふれる人づくりを目指して、一層効果的・効率的な事務の執行に取り組んでまいります。

今後とも、地域、家庭、行政、園・学校が連携・協働しながら保育・教育の質の向上と将来のまちづくりの担い手の育成を図り、持続可能な活力あるまちづくりにつながる教育を一層進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和7年 9 月

那須町教育委員会

目 次

那須町が目指す人づくり(ライフステージ別).....	1
I 本町の「教育委員会の点検・評価」について.....	2
II 教育委員会の活動状況について.....	5
III 教育ビジョンに基づく点検評価対象事務事業	
学校教育課(5事業).....	11
生涯学習課(5事業).....	12
こども未来課(5事業).....	13

IV 令和6年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

○学校教育課

No.	事業名	ページ
1	給付型奨学資金事業	14
2	教育相談体制整備事業	15
3	スクールバス運行事業	16
4	教育活動指導助手配置事業	17
5	学校施設環境改善事業	18

○生涯学習課

No.	事業名	ページ
1	婚活事業	19
2	文化センター管理運営事業	20
3	遺跡分布調査及び遺跡地図作成事業	21
4	スポーツセンター施設管理運営事業	22
5	部活動地域移行推進事業	23

○こども未来課

No.	事業名	ページ
1	私立保育所運営費補助事業	24
2	子ども子育てのための教育保育等給付事業	25
3	放課後児童健全育成事業	26
4	子育て支援センター事業	27
5	母子保健事業	28

【那須町が目指す人づくり(ライフステージ別)】令和4年度～

◆ 妊娠期子育てビジョン ◆

安心して誕生できる子ども

- お腹の子どもを温かく育み、誕生を喜びをもって迎える家庭
- 出産を迎える家庭を温かく見守り支えあう地域
- 安心して妊娠・出産ができるようしっかり支援する町

<ステージ0>

◆ 乳幼児教育・保育(家庭)ビジョン ◆

家庭や地域の愛情に包まれる子ども

- 愛情を受けて自分に自信がもてる子ども
- 安心した環境で生活できる子ども
- 遊びを通し、健康ですくすくと成長する子ども

<ステージ1
-(1)>

◆ 幼児教育・保育(幼稚園・保育園等)ビジョン ◆

健やかに成長し、笑顔の絶えない子ども

- 夢や希望をもつ子ども
- 自分の考えをもつ子ども
- 願いや思いを、率直に言える子ども

<ステージ1
-(2)>

◆ 学校教育ビジョン ◆

夢と志をもち、多様化する社会で活躍できる「自立・自律」した子ども

- 自ら考え、判断し、行動できる子ども
- 自己肯定感が高く、自信に満ち溢れ、たくましく生きる子ども
- 多様性を認め、互いに尊重できる子ども
- 探究心や好奇心旺盛で、「見えない学力」の高い子ども
- 地域を誇れる子ども

<ステージ2>

◆ 青少年教育ビジョン ◆

生き生きと輝き、希望を実現する青少年

- 自立した社会性のある青少年
- 社会の一員として、社会に貢献できる青少年
- 日本の伝統・文化を基盤として国際社会をたくましく生きる青少年

<ステージ3>

◆ 生涯学習ビジョン ◆

- 夢に向かうための教育の推進と青少年の健全育成
- 生涯にわたる学習機会の提供とその充実
- 「町民一人1スポーツ」の推進
- 文化芸術活動の促進による創造性豊かな人づくり

<生涯ステージ>

コミュニケーション

知

徳

体

I 本町の「教育委員会の点検・評価」について

1 目的

教育委員会が立てた基本方針に沿って、具体的な教育行政が執行されているかについて、自らが点検・評価(以下「教育事務点検評価」という。)を行うことにより、効果的な教育行政を一層推進し、町民への説明責任を果たしていくことを目的とします。

2 教育事務点検評価の対象

町教育委員会では、教育基本法第17条第2項に基づき、令和4年度から5年間に取り組む町教育の方向性を広く町民に明確に示すとともに、教育行政を総合的・計画的に推進するため「第2期那須町教育振興基本計画(総合教育ビジョン)～夢・感動あふれる人づくりを目指して～」(以下「教育ビジョン」という。)を策定し、教育行政施策を推進しています。

教育ビジョンでは、今後10年を通じて目指すべき教育の姿に向け、一人一人の人間が、誕生する前の妊娠期から成長していくライフステージに応じた6つのステージ【那須町が目指す人づくり(ライフステージ別)】に分け、各ステージの施策ごとに取り組む事業を掲げています。

町では、近年の学校教育における様々な変化や課題に柔軟に対応するため、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校との連携により情報の共有を図り、子ども一人一人の状況に応じた支援体制を確立させる必要があることから、令和4年度から、子ども子育て施策を担当する「こども未来課」を教育委員会に移管しました。

これに伴い、令和5年度から教育ビジョンに掲げた全ての事業が、教育事務点検評価の対象事業となりました。

具体的な対象事業は、町教育委員会が前年度に実施した事務の管理及び執行のうち、教育委員会の主要事業として承認されている事業から、主だった事業としています。

(令和6年度対象事業)

- ◆ステージ0: 妊娠期子育てビジョン
- ◆ステージ1(1): 乳幼児教育・保育(家庭)ビジョン
- ◆ステージ1(2): 幼児教育・保育(幼稚園・保育園等)ビジョン
- ◆ステージ2: 学校教育ビジョン
- ◆ステージ3: 青少年教育ビジョン
- ◆生涯ステージ: 生涯学習ビジョン

3 教育事務点検評価結果の構成

○担当課

事務事業を所管する担当課及び係名を記載しています。

○事業概要

教育委員会において教育委員会事業の主要事業として承認を受けている事業の中から、主だった事業について、令和 6 年度中の実施状況を記載しています。

○成果及び課題

事務事業に対し、担当課による成果・課題と内部評価を記載しています。

A:達成されている

B:概ね達成されている

C:達成状況は低い(外部評価と共通)

○点検評価委員からの主な意見

点検評価委員からいただいた主な意見と外部評価を記載しています。

○今後の方向性

点検及び評価結果を踏まえ、点検評価委員による今後の方向性を記載しています。

4 教育事務点検評価の方法

①自己評価

前年度に実施した町教育委員会所管事業の取り組み状況について自己評価を行い、成果や課題について明らかにしました。

②点検評価委員会の開催(各担当係長による事業説明)

地教行法に基づき、教育に関し学識経験を有する方で構成する点検評価委員会を開催し、各担当係長から事業の取り組み内容について説明を行いました。

③点検評価委員会の開催(点検評価委員からの意見・提言)

各担当係長による事業説明を踏まえ、事業の取り組み状況や自己評価に対して、意見・提言をいただきました。

5 点検評価委員の設置

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定では点検・評価の実施に当たっては、教育に関し学識経験を有する方の知見の活用を図ることとされています。

令和7年度点検評価では、次の3名の方を外部評価委員として委嘱し、施策に対する評価やご意見、ご提言をいただきました。（任期は2年とし、再任を妨げません。）

氏 名	役 職	任 期
薄葉 保夫	元那須町立黒田原小学校長 元栃木県義務教育課学力向上推進室専門員 元栃木県学力向上コーディネーター	令和7年7月1日 ～ 令和9年3月31日
渡邊 明彦	元那須町立田代友愛小学校長 社会教育主事	
荒井 紀子	元那須町職員 家庭教育オピニオンリーダー	

6 議会への報告

令和7年9月に議会へ報告し、那須町のホームページで公表します。

Ⅱ 教育委員会の活動状況について

1 教育委員会制度

教育委員会は、都道府県及び市町村等に置かれる合議制の執行機関です。創造的で人間性豊かな人材を育成するため、生涯学習の推進をはじめ、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進していく上で、教育委員会制度は重要な役割を担っています。

(教育委員会制度の根拠法律:地方教育行政の組織及び運営に関する法律)

教育委員会制度の意義としては、①地方自治の尊重、②教育行政の政治的中立性と継続性・安定性の確保、③指導行政の重視、④教育行政と一般行政の調和、⑤国・都道府県・市町村の連携、⑥生涯学習など教育行政の一般的な推進、の6つがあります。

教育委員会は、教育委員会の代表者である教育長と4人の非常勤の教育委員をもって組織されており、町長が任命しています。

教育委員は、教育行政や学校運営が教育の専門家だけの判断に偏ることがないように、広く社会の常識や住民のニーズを施策に適切に反映させることができる、一般的な学識、経験が豊かであり、人格が高潔な方を適任者としています。

教育委員と教育長の合議により町の教育基本方針を決定し、教育行政の専門家として教育長が事務局を統括して執行する仕組みとなっています。

(「四訂版 教育委員会必携」引用)

2 那須町教育委員会について

令和7年7月1日現在

職 名	氏 名	委員任期
教 育 長	平 久 井 好 一	令和5年10月1日～令和8年9月30日
教育長職務代理者	菊 地 厚 子	令和5年10月1日～令和9年9月30日
委 員	大 森 源 一 郎	令和3年10月1日～令和7年9月30日
委 員	菊 地 昭 一	令和4年10月1日～令和8年9月30日
委 員	金 田 裕 美 子	令和6年10月1日～令和10年9月30日

○教育長

教育長は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育行政に関して識見を有する者のうちから、地方公共団体の長が、議会の同意を得て任命します。

教育長の任期は 3 年です。

○教育委員

教育委員は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有する者のうちから、地方公共団体の長が、議会の同意を得て任命します。

委員の任期は任命の日から起算して 4 年ですが、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間となります。また、委員は再任されることもできます。

地教行法に基づく教育委員会の発足時(昭和 31 年)の委員の任期が、1 年委員 1 人、2 年委員 1 人、3 年委員 1 人、4 年委員 2 人と定められ、後任者がこれを引き継ぐことによって、教育委員は毎年一部ずつ改任される仕組みとなっています。これは、委員の改任により急激に教育委員会の行政方針が変わることを避けるとともに、地方公共団体の長及び議会の議員の任期が 4 年であることとも関連して、委員の任命を通じて教育行政の安定性、中立性がおびやかされることを防ぐためです。(「四訂版 教育委員会必携」引用)

3 教育委員会議等の運営及び開催状況等

那須町教育委員会は、原則として年 6 回の定例会を開催しています。また、緊急を要する場合などの必要に応じて臨時会も開催しています。

令和 6 年度の開催状況は、次のとおりです。

No	会議名	会議名	開催年月日	出席委員数
1	第 1 回教育委員会	定例会	令和 6 年 4 月 18 日	5 人
2	第 2 回教育委員会	定例会	令和 6 年 7 月 25 日	5 人
3	第 3 回教育委員会	定例会	令和 6 年 10 月 1 日	5 人
4	第 4 回教育委員会	定例会	令和 6 年 11 月 5 日	5 人
5	第 5 回教育委員会	定例会	令和 7 年 2 月 13 日	5 人
6	第 6 回教育委員会	定例会	令和 7 年 3 月 7 日	4 人

4 教育委員会議の内容

教育委員会は原則公開ですが、人事に関する議案を審議する場合等では、出席委員の3分の2以上の多数をもって、非公開の会議とする場合があります。

町民が傍聴をしやすくするため、会議の開催日時や場所、協議事項等を告示しています。

○令和6年度教育委員会定例会の審議内容

会議名	議案番号	件 名
第1回 教育委員会	議案第1号	令和6年度教育委員会事業について
	議案第2号	教育長職務代理者の任命について
	議案第3号	那須町教育委員会事務決裁規程の一部改正について
	議案第4号	那須町教育委員会事務局組織規則の一部改正について
	報告事項1	各種許可・認定状況について
第2回 教育委員会	議案第1号	令和7年度使用教科用図書の採択について
	議案第2号	那須町教育委員会事務点検評価実施要綱の一部改正について
	議案第3号	那須町子どもの読書活動推進計画策定委員会設置要綱の廃止について
	議案第4号	那須町子どもの読書活動推進会議設置要綱の制定について
	報告事項1	各種許可・認定状況について
第3回 教育委員会	報告事項1	教育委員会委員の任命について
	報告事項2	令和6年度「教育委員会の点検・評価」報告書について
	報告事項3	各種許可・認定状況について
第4回 教育委員会	議案第1号	令和7年度那須町教育委員会主要事業等計画(案)について
	報告事項1	各種許可・認定状況について
第5回 教育委員会	議案第1号	令和7年度那須町教育委員会主要事業等予算(案)について
	議案第2号	那須町立小中学校共同学校事務室設置要綱の新規制定について
	議案第3号	那須町立小中学校管理規則の一部改正について
	報告事項1	第2次那須町男女共同参画計画の策定について
	報告事項2	各種許可・認定状況について
第6回 教育委員会	議案第1号	教職員の人事異動について
	議案第2号	那須町那須歴史探訪館館長の設置等に関する規則の廃止について
	議案第3号	那須町学校の在り方検討委員会設置要綱の新規制定について
	議案第4号	那須町教育委員会事務局組織規則の一部改正について
	議案第5号	社会教育委員からの答申について
	報告事項1	那須町こども計画の策定について
	報告事項2	部活動の地域移行について
	報告事項3	各種許可・認定状況について

5 総合教育会議について

地教行法第1条の3の規定に基づき、地方公共団体の長は、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱(以下「大綱」という。)を定めなければなりません。

大綱の策定に関する協議及び教育条件の整備等重点的に講ずべき施策、児童生徒等の生命・身体保護等緊急の場合に講ずべき措置について、地方公共団体の長は、地方公共団体の長と教育委員会により構成する総合教育会議を設け、協議・調整を行うことになっています。

○令和6年度総合教育会議の開催状況

実施年月日	協議内容
令和6年6月13日	(出席者) 町長部局:町長、総務課長、企画政策課長 教育委員会:教育長、教育委員4名、学校教育課長、生涯学習課長、こども未来課長、学校教育課長補佐、管理主事、主任主査 (場所)那須町役場特別会議室 (協議事項)那須町の学校の在り方検討について
令和6年10月1日	(出席者) 町長部局:町長、総務課長 教育委員会:教育長、教育委員4名、社会教育委員4名、学校教育課長、生涯学習課長、こども未来課長、学校教育課長補佐、生涯学習課指導主事、主査 (場所)那須町役場正庁 (協議事項)新しい時代の地域コミュニティづくりについて
令和6年11月5日	(出席者) 町長部局:副町長、総務課長、企画政策課長 教育委員会:教育長、教育委員4名、学校教育課長、生涯学習課長補佐、こども未来課長、黒田原第2保育園長、伊王野保育園長、学校教育課長補佐、こども未来課保育係長 (場所)那須町役場正庁 (協議事項)那須町の保育の現状と課題について
令和7年2月13日	(出席者) 町長部局:町長、総務課長、財政課長 教育委員会:教育長、教育委員4名、学校教育課長、生涯学習課長補佐、こども未来課長、学校教育課長補佐、指導主事、主任主査 (場所)那須町役場特別会議室 (協議事項)那須町の学校の在り方検討について

6 教育委員会の議論の活発化のために

教育委員は、地域の様々な行政課題に迅速かつ的確に対応し、定例会や臨時会、総合教育会議において活発な議論を行い適切な判断ができるよう、教育行政の課題について理解を深めるための施策への勉強会や研修会への参加、学校訪問などを実施しています。

○令和6年度教育委員活動状況

No.	期 日	場 所	内 容
1	4 月 1 日	文化センター	那須町教職員発令式
2	4 月 24 日	那須庁舎	那須地区市町村教育委員会連合会総会
3	5 月 21 日	那須高原保育園	那須高原保育園視察
4	5 月 31 日	野木町	野木町立佐川野小学校視察 野木町・那須町教育委員会意見交換会
5		茨城県古河市	関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会 及び研修会(茨城大会)
6	6 月 11 日	高久小学校	計画訪問
7	6 月 24 日	埼玉県戸田市	那須地区市町村教育委員会連合会研修視察
8	9 月 7 日	那須塩原市三島ホール	少年の主張那須地区大会
9	9 月 19 日	なすのそら保育園	なすのそら保育園視察
10	9 月 25 日	那須庁舎ほか	那須地区市町村教育委員会連合会総会及び研修会
11	10 月 2 日	那須中央中学校	計画訪問
12	10 月 16 日	会津美里町役場庁舎ほか	会津美里町・那須町教育委員会交流会
13	11 月 20 日	栃木県庁	栃木県市町村教育委員会連合会研修会
14	12 月 10 日	黒田原第一保育園	黒田原第一保育園視察

No.	期 日	場 所	内 容
15	12 月 13 日	伊王野保育園	伊王野保育園視察
16	12 月 16 日	那須塩原市	那須塩原市共英学校給食共同調理場視察研修
17	12 月 17 日	千振保育園	千振保育園視察
18	12 月 23 日	黒田原第二保育園	黒田原第二保育園視察
19	1 月12日	文化センター	二十歳のつどい
20	2 月 1 日	文化センター	那須町プレゼンフェスティバル
21	2月20日	田代友愛小学校ほか	西郷村・那須町教育委員会合同研修会
22	3 月11日	各中学校	那須町立中学校卒業式
23	3 月 19 日	各小学校	那須町立小学校卒業式

Ⅲ 教育ビジョンに基づく点検評価対象事務事業

【学校教育課】

(単位：千円)

No.	事業名	事業費	事業概要
1	給付型奨学資金事業	600	菅間記念病院様から平成28年度から受け入れている寄附金を活用して寄附者の趣旨に基づき、大学や短大、専修学校等での学習意欲のある奨学生に対し、返還の必要が無い給付型の奨学資金を新設して支援するものです。 (保育系、福祉系、看護系の学部、学科以外の大学等も含むものとする。)
2	教育相談室体制整備事業	21,459	学校や地域における子どもたちの悩みや課題に対応する相談体制の強化を目的とした事業。主に不登校、いじめ、発達上の課題、家庭問題など、様々な悩みを抱える児童生徒とその保護者への支援を実施。
3	スクールバス運行事業	158,658	小中学校適正配置により遠距離通学となる児童生徒の安全安心な通学を確保するため、スクールバスを運行する。
4	教育活動指導助手配置事業	138,639	学校現場における教育活動を円滑に進めるために教員の業務を支援する目的で指導助手(教育補助員)を配置する事業。
5	学校施設環境改善事業	53,251	小中学校の施設・設備の改修、維持補修工事を計画的に実施し長寿命化を図り、子どもたちの学習環境の維持向上を目指す。

Ⅲ 教育ビジョンに基づく点検評価対象事務事業

【生涯学習課】

(単位：千円)

No.	事業名	事業費	事業概要
1	婚活事業	4,966	結婚を希望する独身者を対象に、結婚支援や出会いの機会を創出する事業を実施。 (1) 那須町西郷村結婚支援事業(NKON) (2) 地域婚活サポーターなすの未来クラブの活動支援 (3) とちぎ結婚支援センター会員登録料の助成 (4) 地域おこし協力隊員が個別相談やスキルアップ講座、婚活イベント開催
2	文化センター管理運営事業	45,103	安全に利用できる環境を維持しながら、施設の管理運営を実施。 【修繕、工事等に要した主な費用】 R6 ・空調機(事務室)改修工事(5,104,000円) ・避難誘導灯LED化工事(2,189,000円)
3	遺跡分布調査及び遺跡地図作成事業	6,087	町内全域の現地調査・散布物の採取を行い、詳細な遺跡地図の整備を行うため、公益財団法人とちぎ未来づくり財団 埋蔵文化財センターに業務委託のうえ、令和6年度から令和9年度の4ヶ年計画で実施予定 R6 芦野・伊王野地区調査 R7 黒田原・高久地区調査 R8 高原地区調査 R9 補足調査、地図作成 R10～地図運用開始
4	スポーツセンター施設管理運営事業	23,868	安全に利用できる環境を維持しながら、施設の管理運営を実施。 【修繕、工事等に要した費用】 R6：10,761,146円 折畳バスケット装置交換工事(9,229,000円)、受変電設備更新工事(14,190,000円)他
5	部活動地域移行推進事業	460	小・中学生を中心に、誰もがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、総合型地域スポーツクラブを立ち上げ、部活動の地域移行(展開)を図る。 R6 部活動地域移行検討協議会の開催(年2回) 部活動地域移行検討検討幹事会の開催(年3回) 各小中学校保護者、教員への説明

Ⅲ 教育ビジョンに基づく点検評価対象事務事業

【こども未来課】

(単位：千円)

No.	事業名	事業費	事業概要
1	私立保育所運営費補助事業	15,861	私立保育所の運営の円滑化及び入所児童に対する適切な保育の確保により児童福祉の向上を図るため、私立保育所に補助金を交付する。
2	子ども子育てのための教育 保育等給付事業	76,060	子ども・子育て支援法に基づき、一人一人の子どもが健やかに成長し、安心して子どもを生み、育てることができる社会の実現に寄与することを目的とし、施設型給付費等を給付する。
3	放課後児童健全育成事業	129,251	小学校に就学している子どもで、保護者が就労により昼間家庭にいない子どもや、疫病、介護等により昼間家庭での養育ができない子どもを対象として、その放課後の時間帯において子どもに適切な遊び及び生活の場を提供するための運営支援や施設整備を行っている。
4	子育て支援センター事業	1,283	地域子育て支援拠点として、サロン事業や遊び場等の開設・運営を行う。また、ショートステイやファミリーサポートセンター事業等の社会資源の提案・提供を行っている。 要保護児童対策地域協議会の調整機関としても位置づけられていることから、児童に関する相談の受付、虐待行為等の未然防止や再発防止に取り組んでいる。
5	母子保健事業	10,981	母子保健法に基づき、母性、乳児及び幼児の健康の保持増進を図るため、保健指導、健康診査に関する事務等を行う。また、安心して妊娠・出産・子育てができるよう児童福祉分野、その他関係機関と連携しながら切れ目のない継続的な支援を提供する。

令和6年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	給付型奨学資金事業				
担当課	学校教育課				
制度区分	☐ 補助（国・県） ☐ 町単独 ☒ その他				
事業概要	目的	大学や短大、専修学校等での学習意欲のある奨学生に対し、返還の必要が無い給付型の奨学資金を新設して支援するもの。			
	取組実績	募集内容：優秀な青少年で経済的理由により進学ができない者 募集人数：2名 希望人数：3名（希望進学先：大学2名、専門学校1名） 判定結果：合格者2名（不合格者1名）			
	経過年度事業実績	令和5年11月30日施行により令和6年度より実施。			
	事業費 (単位：千円)		R4	R5	R6
	決算額	-	-	600	
成果及び課題	成果	貸付型、給付型及び併用という選択肢の中からその家庭状況に応じた制度の確立が出来た。			内部評価
	課題	社会医療法人博愛会 菅間記念病院からの寄付を原資に行っている事業であり、その寄附も今年度で終了となる。令和6年度～令和15年度までの財源は確保されているが、その後、持続可能な制度とするには、安定した財源確保が必要。			A
点検評価委員からの主な意見	・多くの寄付を募るのが喫緊の課題だと思う。広報等で企業に寄附を募るなど財源確保に向けた努力が必要。中には知らなかったというのが意外とあるかもしれない。 ・本当に必要な人に行き届いた方が良くと思う。応募が少ないような感じがするのは、広報活動が足りないのか、困っている人が少ないのか分かりませんが、制度の周知を広めていくことと、財源確保の努力をしていただいて、ぜひ継続して欲しい。				外部評価
					A
今後の方向性	☒ 事業拡大 ☐ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和6年度那須町教育委員会事務事業点検評価調査書

事業名	教育相談室体制整備事業				
担当課	学校教育課				
制度区分	☐ 補助（国・県） ☒ 町単独 ☐ その他				
事業概要	目 的	学校不適応傾向となる児童生徒への未然防止のための支援を推進するとともに、学校不適応傾向にある児童生徒については、本人、保護者及び学校への適切な支援を行い、児童生徒の健やかな学びの場づくりに貢献し、将来の自立を促進する。			
	取組実績	通室者数 延人数 R6： 11名 1,369名 教育相談室2名常駐、SSW1名、作業療法士1名、心の教室相談員2名配置			
	経過年度事業実績	通室者数 延人数 R4： 7名 737名 R5： 13名 689名 ※R5より「りぼーる・たなか」内へ移転。「こもれび」新たな愛称。			
	事業費 (単位：千円)		R4	R5	R6
	決算額	22,219	21,255	21,459	
成果及び課題	成 果	・不登校、いじめ、家庭問題など個別の悩みへの対応により、心理的な安心感が得られる場として定着。 ・教師やスクールカウンセラー、養護教諭などと連携しながら、学校現場と教育相談室の橋渡し役を担っている。			内部評価
	課 題	・担当相談員の人数に限られており、相談希望に対して対応が追いつかないケースがある。 ・一度限りの相談で終わってしまい継続支援に至らないケースがある。			B
点検評価委員からの主な意見	・児童生徒数減少の中でも子どもの心の問題は増え続けており、那須町単独での取り組みは非常に評価できる。作業療法士や教室相談員の人数を増やす必要がある。 ・令和6年度に大幅に延べ人数が増えているが、対応が追いついていないことで、今後、相談員の増員や体制強化の必要がある。 ・教育相談の場としては、とても良い環境だと思う。				外部評価
					B
今後の方向性	☐ 事業拡大 ☒ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止				

評価 A: 達成されている B: 概ね達成されている C: 達成状況は低い

令和6年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	スクールバス運行事業					
担当課	学校教育課					
制度区分	☐ 補助（国・県） ☒ 町単独 ☐ その他					
事業概要	目的	小中学校の適正配置に合わせスクールバスを運行し、保護者の負担を軽減する。 また、車両更新を計画的に行い、児童生徒の通学の安全を確保する。（継続）				
	取組実績	東陽小4台、学びの森小2台、田代友愛小2台、那須高原小3台、黒田原小2台、那須中3台、那須中央中4台、予備車2台、計22台の運行管理を行った。 ・小学校 13台 13路線 ・中学校 7台 7路線				
	経過年度 事業実績	H30 小学校12台、中学校9台、予備車1台 計22台 R1 小学校14台（+2）、中学校9台、予備車1台 計24台 R2 小学校14台、中学校10台（+1）、予備車2台（+1） 計26台 R3 小学校14台、中学校10台（±1）、予備車2台 計26台 R4 小学校14台（±1）、中学校10台、予備車2台 計26台 R5 小学校14台、中学校10台、予備車2台 計26台 車内に置き去り防止装置を整備した（予備車2台を除く、県補助金） R6 小学校13台（-1台）、中学校7台（-3台）、予備車2台 計22台				
		事業費 （単位：千円）		R 4	R 5	R 6
		決算額	182,508	187,712	158,658	
成果及び課題	成果	児童299人、生徒186人が利用し、児童生徒が安心して通学できる環境を整えることができた。 運行ルート統合により4路線、4台を削減したが、問題なく運行することができた。			内部評価	
	課題	車両の老朽化により修繕費用が増大しているため、計画的な車両の入替えが必要である。			A	
点検評価委員 からの主な意見	・那須町は学校統廃合により通学距離が長くなったため、スクールバスはなくてはならないものですので、これだけの予算は仕方ないと感じる。スクールバスはこれからも続けていただきたいと思う。 ・道路が狭い場所（特に黒川から豊岡への道など）が多く、大型トラックとのすれ違いが危険なため、道路の改善を要望していただきたいと思う。難しいことは承知しておりますが、事故があつてからでは遅いと感じる。 ・子どもの数が減っているため、その都度路線を見直して、子どもたちが効率よく、長時間乗らないですむように心がけていただければと思う。				外部評価	
					A	
今後の方向性	☐ 事業拡大 ☒ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止					

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和6年度那須町教育委員会事務事業点検評価調査

事業名	教育活動指導助手配置事業					
担当課	学校教育課					
制度区分	☒ 補助（国・県） ☐ 町単独 ☐ その他					
事業概要	目的	学校現場における教育活動を円滑に進めるために教員の業務を支援する。				
	取組実績	・教育活動指導助手：31名 ・英語活動指導助手：5名 ・学校図書支援員：3名 ・教員業務支援員：4名 計：43名				
	経過年度 事業実績	・令和4年度：39名 ・令和5年度：37名 ・令和6年度：43名				
		事業費 (単位：千円)		R4	R5	R6
		決算額	67,844	67,515	80,282	
成果及び課題	成果	・教員が対応しきれない場面で、個別指導や補習、学習習慣の定着支援などを行うことで、学力の定着が見られた。 ・教材準備や学習支援、授業サポートを行うことにより、教員が本来の授業準備や児童生徒との関わりに集中できる環境を提供出来た。			内部評価	
	課題	・教育現場のニーズに合った人材（経験・知識・子どもへの理解がある）の確保が難しい。 ・教員と助手との間で、役割分担や指導方法の共有が不十分な時があり（特に児童生徒との接し方）、指導助手が十分に能力を発揮できていない場合がある。			B	
点検評価委員 からの主な意見	・那須町単独で、多くの予算を使っていたでいて、学校現場も非常に助かっている事業だと思う。人材確保など課題もありますが、これからも続けていただきたい。併せて、学校側と指導助手との情報共有をして、活躍できる環境を作っていただきたい。 ・学校訪問した時に、素晴らしい支援の先生もありましたが、全体的にレベルアップするために、研修の機会があれば良いのではないかな。 ・このままの状態を維持していただきたい。				外部評価	
					B	
今後の方向性	☐ 事業拡大 ☒ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止					

評価 A: 達成されている B: 概ね達成されている C: 達成状況は低い

令和6年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	学校施設環境改善事業				
担当課	学校教育課				
制度区分	☐ 補助（国・県） ☒ 町単独 ☐ その他				
事業概要	目的	小中学校の施設・設備の改修、維持補修工事を計画的に実施し長寿命化を図り、子どもたちの学習環境の維持向上を目指す。			
	取組実績	【工事請負】 那須中体育館屋上防水及び給食室トイレ改修ほか23 28,491,349円 【委託】 施設警備・清掃等管理業務ほか33 17,185,761円 【修繕】 消防設備補修（全小学校）ほか45 7,573,580円			
	経過年度事業実績	R4 小中学校特別教室エアコン改修工事 28,578,000円 高久小給食室トイレ配管修繕ほか維持補修工事 7,518,850円 R5 東陽小教室棟屋上防水改修工事 20,306,000円 高久中旧体育館解体工事 16,357,000円 黒田原小屋内プール西側外壁補修工事ほか維持補修工事 11,518,430円			
	事業費 (単位：千円)		R4	R5	R6
	決算額	36,097	48,182	53,251	
成果及び課題	成果	令和4年度に音楽室などの特別教室へのエアコン設置率が34%となった。 令和5年度には、施設の長寿命化を図るために屋上防水工事の実施や学校の安全な運営のための体育館解体工事を実施した。 令和6年度においても施設の長寿命化を図るために体育館屋上防水工事を実施した。			内部評価
	課題	学校施設の多くは、昭和40年代から50年代に建設されており、改修を必要とする時期を迎えている。 将来を担う子どもたちや地域住民が安心して利用できる学校施設の実現のため、施設の長寿命化に向けた計画的な改修が必要である。			C
点検評価委員からの主な意見	・学校施設の体育館は避難所にもなりますし、積極的な改修に向けた検討をしていただく必要がある。 ・学校は地域の支えとなっていると思う。計画的な予算確保と優先順位をつけて、修繕を進めていただきたい。				外部評価
					C
今後の方向性	☒ 事業拡大 ☐ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和6年度那須町教育委員会事務事業点検評価調査

事業名	婚活事業																												
担当課	生涯学習課 生涯学習係																												
制度区分	☒ 補助（国・県） ☒ 町単独 ☐ その他																												
事業概要	目的	結婚を希望する独身者を対象に、結婚支援や出会いの機会を創出する。																											
	取組実績	(1) 那須町西郷村結婚支援事業（NKON） 西郷村と共催でスキルアップセミナー及び婚活イベントを各3回実施した。 (2) 地域婚活サポーターなすの未来クラブの活動支援 出会いを求める方に、希望するお相手の条件等を聞き、見合うような方を引き合わせた。（1件） (3) とちぎ結婚支援センター会員登録料の助成（4件） (4) 地域おこし協力隊員が個別相談やスキルアップ講座、婚活イベントを開催した。																											
	経過年度事業実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 4</th> <th>R 5</th> <th>R 6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 那須町西郷村結婚支援事業（NKON）</td> <td>0</td> <td>658,000</td> <td>910,000</td> </tr> <tr> <td>(2) 地域婚活サポーターなすの未来クラブの活動支援</td> <td>30,000</td> <td>45,000</td> <td>45,000</td> </tr> <tr> <td>(3) とちぎ結婚支援センター会員登録料の助成</td> <td>60,000</td> <td>50,000</td> <td>40,000</td> </tr> <tr> <td>(4) 地域おこし協力隊員</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3,971,097</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>90,000</td> <td>753,000</td> <td>4,966,097</td> </tr> </tbody> </table>					R 4	R 5	R 6	(1) 那須町西郷村結婚支援事業（NKON）	0	658,000	910,000	(2) 地域婚活サポーターなすの未来クラブの活動支援	30,000	45,000	45,000	(3) とちぎ結婚支援センター会員登録料の助成	60,000	50,000	40,000	(4) 地域おこし協力隊員	0	0	3,971,097	計	90,000	753,000	4,966,097
		R 4	R 5	R 6																									
(1) 那須町西郷村結婚支援事業（NKON）	0	658,000	910,000																										
(2) 地域婚活サポーターなすの未来クラブの活動支援	30,000	45,000	45,000																										
(3) とちぎ結婚支援センター会員登録料の助成	60,000	50,000	40,000																										
(4) 地域おこし協力隊員	0	0	3,971,097																										
計	90,000	753,000	4,966,097																										
事業費 (単位：千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 4</th> <th>R 5</th> <th>R 6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決算額</td> <td>90</td> <td>753</td> <td>4,966</td> </tr> </tbody> </table>		R 4	R 5	R 6	決算額	90	753	4,966																				
	R 4	R 5	R 6																										
決算額	90	753	4,966																										
成果及び課題	成果	結婚支援事業（NKON）においては、募集以上の参加申し込みがあり、参加者の交流の幅が広がった。事業後のアンケートでは、参加者の満足度が高かった。また、スキルアップセミナー受講の結果、婚活に対して自信がついたと回答した人の割合も高かった。			内部評価																								
	課題	スキルアップセミナーや婚活イベント等の内容がマンネリ化しないよう見直していくことが必要。			A																								
点検評価委員からの主な意見	・那須町は未婚の男性も多いので、このような取り組みも必要なのかなと思う。地域おこし協力隊の方が、意欲的に活動していると聞いて、驚いております。 ・那須町の婚活サポーターの方々も、今まで通りお願いしたいと思いますが、もう少しPRをして、町民に周知した方がいいのではないかと。 ・14組のカップルが誕生したということで、一定の成果が認められる。			外部評価																									
				A																									
今後の方向性	☐ 事業拡大 ☒ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止																												

評価 A: 達成されている B: 概ね達成されている C: 達成状況は低い

令和6年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	文化センター管理運営事業				
担当課	生涯学習課 文化振興係				
制度区分	☐ 補助（国・県） ☒ 町単独 ☐ その他				
事業概要	目 的	町民の教養及び福祉の向上と芸術文化の振興を図るため設置された那須町文化センターについて、安全に利用できる環境を維持しながら、施設の管理運営を行っていく。			
	取組実績	開館当初から使用していた研修棟の空調機について、複数年かけて改修工事を実施した。 また、消防署から指摘のあった避難誘導灯についてLED化工事を実施した。			
	経過年度 事業実績	【修繕、工事等に要した主な費用】 R 4 空調機（視聴覚室）改修工事（4,675,000円）、高圧ケーブル・PAS更新工事（1,155,000円） R 5 空調機（研修棟エントランス）改修工事（5,533,000円）、避難誘導灯LED化工事（3,399,000円） R 6 空調機（事務室）改修工事（5,104,000円）、避難誘導灯LED化工事（2,189,000円）			
	事業費 （単位：千円）	決算額	R 4 44,787	R 5 46,003	R 6 45,103
成果及び課題	成 果	空調機改修により、快適な利用と猛暑日の熱中症対策を図ることができた。 また、避難誘導灯をLED化したことで、異常時等の対策を図ることができた。			内部評価
	課 題	施設の老朽化に伴い、修繕費の増加が懸念される。また、長寿命化に向けて施設の大規模改修（舞台照明、舞台機構、舞台音響、外壁等）の必要がある。			A
点検評価委員 からの主な意見	・文化センターの管理運営といった面では、必要なところは計画的に行っていたきたい。 ・突発的な設備の故障で、コンサートなどの事業が中止にならないようにしていただきたい。 ・文化センターのトイレにまだ和式があり、今の時代に合わない感じですので、洋式化への改修が必要である。				外部評価
					A
今後の方向性	☐ 事業拡大 ☒ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和6年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	遺跡分布調査及び遺跡地図作成事業					
担当課	生涯学習課 文化財係					
制度区分	☒ 補助（国・県） ☐ 町単独 ☐ その他					
事業概要	目的	周知の埋蔵文化財包蔵地を中心に町内全域の現地調査・散布物の採取を行い、詳細な遺跡地図の整備を行うことで、開発事業による遺跡の破壊を防止し、将来にわたり遺跡の保護を図っていく。				
	取組実績	公益財団法人とちぎ未来づくり財団 埋蔵文化財センターに業務委託のうえ、令和6年度から令和9年度の4ヶ年計画で実施予定。 令和6年度は、芦野・伊王野地区の現地調査を行い、縄文時代から平安時代までの幅広い時代の遺物を採取することができた。				
	経過年度事業実績	R 6 芦野・伊王野地区調査 R 7 黒田原・高久地区調査 R 8 高原地区調査 R 9 補足調査、地図作成 R 10～地図運用開始				
	事業費 (単位：千円)		R 4	R 5	R 6	
	決算額	-	-	6,087		
成果及び課題	成果	令和6年度の調査においては、すでに周知されている遺跡を含め、広範囲で幅広い時代の遺物を採取することができた。 今後の整理作業において、周知の遺跡の範囲確定を行うとともに、新規の遺跡についても5箇所程度増える見込み。				内部評価
	課題	調査で採取した遺物については、市町で管理・活用していくことが一般的であり、調査完了後の遺物の保存場所（施設）を含めた管理・活用方法について検討していく必要がある。				A
点検評価委員からの主な意見	・新たな発掘でいろいろなものがでてくると思う。遺物保存場所の整備を図り、大切な物をきちんと保存できる場所を作っていかなければならないと感じる。補助事業を活用するなど、保存場所を含めた管理・活用方法については十分に検討が必要である。 ・保存場所が不足していると思われるので、更に保存できる場所が必要である。				外部評価	
					A	
今後の方向性	☐ 事業拡大 ☒ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止					

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和6年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	スポーツセンター施設管理運営事業					
担当課	生涯学習課 施設管理係					
制度区分	☐ 補助（国・県） ☒ 町単独 ☐ その他					
事業概要	目的	町民のスポーツ普及振興を図り、健康増進と体位向上の用に供することを目的として設置されたスポーツセンターについて、安全に利用できる環境を維持しながら、施設の管理運営を行っていく。				
	取組実績	令和6年度において、開館当初（昭和63年）に設置した折畳バスケット装置の一部が破損し、落下の恐れがあることから、交換工事を行った。また、受変電設備（変圧器及び高圧コンデンサ）において、低濃度PCB含有が確認されたため、更新工事を行った。				
	経過年度 事業実績	【修繕、工事等に要した費用】 R4：814,013円 アリーナ照明ランプ交換(208,780円)、北側駐車場照明交換工事(256,322円)他 R5：655,512円 ランニングマシン修繕(374,242円)、フット弁交換(166,870円)他 R6：10,761,146円 折畳バスケット装置交換工事(9,229,000円)、受変電設備更新工事(14,190,000円)他				
		事業費 (単位：千円)		R4	R5	R6
		決算額	13,968	14,180	23,868	
成果及び課題	成果	バスケット装置及び受変電設備更新により、施設を安全に利用できるようになった。			内部評価	
	課題	施設老朽化に伴い、大規模改修（屋根、外壁、照明設備、電気設備等）や機器類更新（トレーニング器具、バレーボール器具、バトミントン器具等）の必要がある。			A	
点検評価委員 からの主な意見	・今後も、計画的な修繕を継続していただきたい。 ・積極的な管理運営を行い、先々を見通した熱中症対策が必要である。				外部評価	
					A	
今後の方向性	☒ 事業拡大 ☐ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止					

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和6年度那須町教育委員会事務事業点検評価調査書

事業名	部活動地域移行推進事業				
担当課	生涯学習課 スポーツ振興係				
制度区分	☐ 補助（国・県） ☒ 町単独 ☐ その他				
事業概要	目的	町では、国の方針に基づき、学校部活動から地域クラブ活動へ地域移行（展開）を推進するために、小・中学生を中心に、誰もがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、総合型地域スポーツクラブを立ち上げ、部活動の地域移行（展開）を図る。			
	取組実績	令和6年度においては、総合型地域スポーツクラブの立ち上げるため、部活動地域移行検討協議会、部活動地域移行検討幹事会を開催し、町が目指す方向性について、意見の交換等、協議を重ねた。また、保護者や教員への説明を行い、町が取り組む地域移行について、周知理解を図った。			
	経過年度事業実績	R 5 部活動地域移行検討協議会及び検討幹事会の立ち上げ R 6 部活動地域移行検討協議会の開催（年2回） 部活動地域移行検討幹事会の開催（年3回） 各小中学校保護者、教員への説明			
		事業費 (単位：千円)		R 4	R 5
		決算額	-	92	460
成果及び課題	成果	町が進める部活動地域移行（展開）を推進するための総合型地域スポーツクラブの立ち上げについて、部活動地域移行検討協議会、検討幹事会の開催、また、保護者や教員への説明を行ったことで、町が取り組む地域移行（展開）について、周知理解を図ることができた。			内部評価
	課題	総合型地域スポーツクラブを立ち上げるため、安定的な運営に必要な財政支援、指導者の確保等が課題である。また、中学校の部活動の受け皿として、平日活動における移動手段の確保、地域クラブとしての中体連大会への参加要件等、様々な課題の解決が必要である。			B
点検評価委員からの主な意見	・部活動の地域移行という形で、その先にみえているのが総合型スポーツクラブになると思う。町としては、ヨーロッパ型の子どもから大人まで全部含めた総合型スポーツクラブにするのか、部活動を地域に移行するだけなのかを検討する必要がある。 ・保護者や先生の部活動というイメージからの意識改革が必要であり、丁寧な説明と情報共有が必要である。				外部評価
					B
今後の方向性	☒ 事業拡大 ☐ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和6年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	私立保育所運営費補助事業				
担当課	こども未来課				
制度区分	☒ 補助（国・県） ☒ 町単独 ☐ その他				
事業概要	目的	私立保育所の運営の円滑化及び入所児童に対する適切な保育の確保により児童福祉の向上を図る。			
	取組実績	①延長保育事業（1施設） ②病児・病後児対応事業（2施設） ③保育体制強化事業（2施設） ④保育補助者雇上強化事業（1施設） ⑤食物アレルギー対応給食提供事業（1施設） ⑥障害児・軽度障害児保育事業（2施設） ⑦災害掛金免除事業（2施設） ⑧園外保育事業（2施設） ⑨第三者評価受審事業（2施設）			
	経過年度事業実績	R4 私立保育所運営費補助金（2施設） R5 私立保育所運営費補助金（2施設） R6 私立保育所運営費補助金（2施設）			
	事業費 （単位：千円）		R4	R5	R6
	決算額	9,802	9,729	15,861	
成果及び課題	成果	様々な保育ニーズに対するサービスや保育士確保のため私立保育所に補助金を交付することにより、運営の円滑化及び入所児童に対する適切な保育の確保ができた。			内部評価
	課題	補助事業の種類が多く、交付申請や実績報告等の事務が煩雑で、施設にも負担となっている。			B
点検評価委員からの主な意見	- 令和6年度の事業費が大幅に増額している。 - 補助金を活用し、より良い保育園運営に努めて欲しい。 - 事務量が多いという課題があることから適正な職員の確保が必要である。				外部評価
					A
今後の方向性	☐ 事業拡大 ☒ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和6年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	子ども子育てのための教育保育等給付事業					
担当課	こども未来課					
制度区分	☒ 補助（国・県） ☐ 町単独 ☐ その他					
事業概要	目 的	子ども・子育て支援法に基づき、施設型給付費等を給付することにより、一人一人の子どもが健やかに成長し、安心して子どもを生み、育てることができる社会の実現に寄与することを目的とする。				
	取組実績	施設型給付 認定こども園 47,486千円（30名） 幼稚園 26,266千円（27名） 町外公立保育園 1,246千円（3名） 施設等利用給付 1,062千円（9名）				
	経過年度 事業実績	施設型給付		R5	R4	
		認定こども園		50,184千円（33名）	64,994千円（44名）	
		幼稚園		29,333千円（32名）	24,383千円（27名）	
町外公立保育園		811千円（2名）	669千円（1名）			
町内公立保育園		※R5よりなし	179,014千円（302名）			
施設等利用給付		817千円（6名）	1,556千円（14名）			
		事業費 （単位：千円）	決算額	R4	R5	R6
				270,616	81,144	76,060
成果及び課題	成 果	施設型給付に関しては、保護者に対する個人給付を確実に教育・保育に要する費用に充てるため、施設に対して国の基準である公定価格等を基に給付し、財政支援が図れた。				内部評価
	課 題	未就学児の人口の減少や低年齢児の保育需要が年々増加していることから町内の幼稚園及び認定こども園の園児数が減少しており、施設の安定した運営のための対応が必要である。				B
点検評価委員 からの主な意見	・一人当たり、手厚い補助をしていると感じる。 ・幼稚園の園児数が少ないことが気がかりだ。 ・保育園で0歳児を預かると負担がかかる分、国の方の補助も大きくなるので、施設に対して適切な給付を今後も行って欲しい。					外部評価
						A
今後の方向性	☐ 事業拡大 ☒ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止					

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和6年度那須町教育委員会事務事業点検評価調査

事業名	放課後児童健全育成事業				
担当課	こども未来課				
制度区分	☒ 補助（国・県） ☐ 町単独 ☐ その他				
事業概要	目的	子育てをしながら働く家庭等の支援をすること、また、小学校就学児が安心して放課後を過ごせるよう、放課後児童クラブの管理及び運営補助を行う。（継続）			
	取組実績	放課後児童健全育成事業に基づく公設民営放課後児童クラブの業務委託料及び民設民営放課後児童クラブの運営費補助金において公費負担分の支出を行った。また、待機児童対策のため黒田原小学校校舎内に「学童保育アップルクラブ」を新設した。なお、旧室野井小学校の「もりぞうクラブ」については、10月にその機能を旧大同保育園に移し、事業形態を公設民営から民設民営とした。			
	経過年度 事業実績	R4 実施団体：公設民営7クラブ8単位（運営委託）、民設民営1クラブ1単位 利用児童数：公設民営324人・民設民営20人 R5 実施団体：公設民営7クラブ8単位（運営委託）、民設民営1クラブ1単位 利用児童数：公設民営322人・民設民営17人 R6 実施団体：公設民営7クラブ8単位（運営委託）、民設民営2クラブ2単位 利用児童数：公設民営364人・民設民営45人			
		事業費 （単位：千円）		R 4	R 5
	決算額	47,393	89,241	129,251	
成果及び課題	成果	適正な放課後児童クラブの管理及び運営補助、必要なクラブ数の確保ができた。 また、全ての放課後児童クラブが法人による運営となったことで、保護者の負担が軽減された。			内部評価
	課題	放課後児童クラブについては、運営母体やその職員に求められる技能等の水準が社会的に高まっており、児童にとってより良い放課後児童育成健全事業を実施するためには、業務委託を実施する事業者を広く募集し、選定する必要がある。			B
点検評価委員 からの主な意見	・法人運営への移行により、保護者の負担が軽減されたことは、非常に良いことである。				外部評価
					A
今後の方向性	☐ 事業拡大 ☒ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和6年度那須町教育委員会事務事業点検評価調査

事業名	子育て支援センター事業																			
担当課	こども未来課																			
制度区分	☒ 補助（国・県） ☐ 町単独 ☐ その他																			
事業概要	目 的	地域子育て支援拠点として、サロン事業等を通じて、子どもの健やかな成長と保護者を支援するとともに、子育て短期支援事業（ショートステイ）やファミリーサポートセンター事業等の各種サービスを提供する。 また、児童虐待を含む要保護児童等の対策に関して、相談業務の他、関係機関との連携を強化し、虐待行為の未然防止と再発防止に取り組む。																		
	取組実績	①子育て支援センター利用者数：1,742人（延べ人数） ②子育てサロン事業：48回（延べ人数 811人） ③子育て短期支援事業：37日（延べ日数） ④ファミリーサポートセンター事業：79回（延べ回数） ⑤児童相談（養護相談等）対応件数：22人（17）※（ ）内は虐待件数																		
	経過年度事業実績	<table border="1"> <tr> <td>①子育て支援センター利用者数</td> <td>R5：1,897人</td> <td>R4：2,015人</td> </tr> <tr> <td>②子育てサロン事業</td> <td>R5：51回（904人）</td> <td>R4：48回（785人）</td> </tr> <tr> <td>③子育て短期支援事業</td> <td>R5：25日</td> <td>R4：0日</td> </tr> <tr> <td>④ファミリーサポートセンター事業</td> <td>R5：100回</td> <td>R4：45回</td> </tr> <tr> <td>⑤児童相談（養護相談等）対応件数</td> <td>R5：43人（30）</td> <td>R4：50人（19）</td> </tr> </table>				①子育て支援センター利用者数	R5：1,897人	R4：2,015人	②子育てサロン事業	R5：51回（904人）	R4：48回（785人）	③子育て短期支援事業	R5：25日	R4：0日	④ファミリーサポートセンター事業	R5：100回	R4：45回	⑤児童相談（養護相談等）対応件数	R5：43人（30）	R4：50人（19）
	①子育て支援センター利用者数	R5：1,897人	R4：2,015人																	
②子育てサロン事業	R5：51回（904人）	R4：48回（785人）																		
③子育て短期支援事業	R5：25日	R4：0日																		
④ファミリーサポートセンター事業	R5：100回	R4：45回																		
⑤児童相談（養護相談等）対応件数	R5：43人（30）	R4：50人（19）																		
	事業費 (単位：千円)	決算額	R 4	R 5	R 6															
			705	1,238	1,283															
成果及び課題	成 果	令和6年度から子育て支援センター内に、児童福祉部門と母子保健部門の一層の連携強化のため、児童福祉法に基づく「こども家庭センター」を設置しました。これに併せて、社会福祉士や心理職を新たに配置し、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへの一体的な相談支援を行う体制を整えています。 心理職が知能検査等で保育園や小中学校を訪れる回数が増えたことで、保育や学校の現場との関係性が強まったと認識しています。気になる児童の早期発見や専門職の多角的な視点からのアセスメントにより、これまで以上に対応力が向上したと考えています。			内部評価															
	課 題	町内には、児童や家庭を支援するための資源が乏しいため、社会資源の開発が必要であると考えています。 その一環として、子育て短期支援事業については、委託先の確保のため、令和7年度から里親への委託を開始しています。 また、学校（学童含む）終了後に、食事・衛生面・学習等の基本的な生活習慣を経験できる場所（第三の居場所等）の事業化を進めます。			A															
点検評価委員からの主な意見	・求められる子育てサービスの目的を理解し、協力してくれる人材の確保が必要である。			外部評価																
				A																
今後の方向性	☐ 事業拡大 ☒ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止																			

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和6年度那須町教育委員会事務事業点検評価調査

事業名	母子保健事業				
担当課	こども未来課				
制度区分	☒ 補助（国・県） ☐ 町単独 ☐ その他				
事業概要	目 的	母子保健法に基づき、母性、乳児及び幼児の健康の保持増進を図るため、保健指導、健康診査に関する事務等を行う。また、安心して妊娠・出産・子育てができるよう児童福祉分野、その他関係機関と連携しながら切れ目のない継続的な支援を提供する。			
	取組実績	①母子健康手帳の交付：68人 ②赤ちゃん訪問：59人 ③産後ケア事業：実19人、延44人 ④乳幼児健診：4ヶ月児(46/46人) 10ヶ月児(51/52人) 1.6歳児(71/74人) 2歳児(77/80人) 3歳児(90/93人) ※（実施者数/対象者数） ⑤発達相談：個別（心理・ことば・運動）回数 19回、実施人数 34人 集団（のびのび発達相談）年中児 94/96人 年長児 212/121人 ⑥学童期の親子歯科保健教室：実施回数11回、人数1036人			
	経過年度事業実績	①母子健康手帳の交付：R5 50人 R4 55人 ②赤ちゃん訪問：R5 55人 R4 76人 ③産後ケア事業：R5 実9人 延11人、R4 実6人 延14人 ④乳幼児健診：R5 4ヶ月児(63/65人) 10ヶ月児(71/74人) 1.6歳児(74/78人) 2歳児(78/83人) 3歳児(80/87人) R4 4ヶ月児(76/76人) 10ヶ月児(74/81人) 1.6歳児(88/93人) 2歳児(90/96人) 3歳児(122/126人) ※（実施者数/対象者数） ⑤発達相談（心理・ことば・運動）：R5 実施回数18回 人数29人、R4 実施回数15回 人数37人 （集団）：R5 対象129人、実施人数121人 R4 対象106人、実施人数105人 ⑥学童期の親子歯科保健教室：R5 実施回数10回 人数988人、R4 実施回数11回 人数1,301人			
	事業費 (単位：千円)	決算額	R 4 12, 103	R 5 8, 420	R 6 10, 981
成果及び課題	成 果	・母子手帳交付、赤ちゃん訪問時の面接については全員実施し、妊産婦の不安や課題に対して関係機関と連携しながら支援できた。 ・産後ケアについては、母子手帳交付時、赤ちゃん訪問時の周知により利用者数が増加し産後の心身の負担軽減に繋がった。 ・乳幼児健診においては、家庭背景や発達課題等課題が多い事例が増加しており、継続的に経過を確認し支援することができた。			内部評価
	課 題	出生率が減少傾向のため、今後の健診の在り方について検討が必要である。また、少子化ではあるが、細やかな育児支援が必要なケースもあるため、相談機能を強化してくと共に、児童福祉、他機関、地域との連携を図っていくことが必要である。			A
点検評価委員からの主な意見	・子どもの数も減っているが、ニーズが多様化しているので専門職の確保が必要である。 ・那須町への定住促進の観点からも、これらの手厚い子育て支援を発信していくべきである。			外部評価	
				A	
今後の方向性	☐ 事業拡大 ☒ 現状維持 ☐ 修正継続 ☐ 規模縮小 ☐ 代替事業の検討 ☐ 他事業との統合 ☐ 外部委託 ☐ 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い